

第5回 富山市文化財保存活用地域計画策定協議会

と き 令和7年8月1日(金)
午後2時から
ところ Toyama Sakura ビル 6 階
研修室

次 第

- 1 開 会
- 2 議長選出
- 3 議長挨拶
- 4 報告事項
 - (1) スケジュールについて…資料1
- 5 協議事項
 - (1) 富山市文化財保存活用地域計画の概要および文化財の保存・活用に関する将来像・課題・方針・措置について…資料2～4
 - (2) 歴史文化の特性および関連する措置・施設について…資料5
 - (3) 未指定文化財の件数について…資料6
- 6 閉 会

富山市文化財保存活用地域計画策定協議会委員（５０音順）

（任期：令和７年４月１日から令和９年３月３１日）

区分	氏名	所属・役職等	専門分野
商工団体	今川 清司	富山商工会議所産業振興部長	商工
学識経験者	上野 幸夫	職藝学院学院長 市文化財調査審議会会長	伝統的建造物
その他	菊川 祐介	富山市自治振興連絡協議会副会長	地域振興
文化財所有者	齊藤 和雄	熊野神社稚児舞保存会会長	民俗芸能継承団体
学識経験者	島添 貴美子	富山大学教授 市文化財調査審議会委員 富山県文化財保護審議会委員	無形民俗
学識経験者	鈴木 景二	富山大学教授 市文化財調査審議会委員（会長職務代理） 富山県文化財保護審議会委員	歴史
観光団体	関野 孝俊	富山市観光協会事務局長	観光
その他	中村 茂信	富山市公民館連絡協議会会長	地域振興
行政（県）	前川 秋人	富山県教育委員会 生涯学習・文化財課長	文化財行政
学識経験者	藪谷 祐介	富山大学講師 市景観まちづくりアドバイザー	建築・まちづくり
事務局		教育委員会事務局 生涯学習課	

第5回富山市文化財保存活用地域計画策定協議会

資 料

日 時 : 令和7年8月1日(金)午後2時から
場 所 : Toyama Sakura ビル6階 研修室

目 次

【資料1】 富山市文化財保存活用地域計画策定事業スケジュール・・・・・・・・・・	1 ページ
【資料2】 富山市文化財保存活用地域計画 概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2 ページ
【資料3】 文化財の保存・活用に関する将来像（第5章素案）・・・・・・・・・・	7 ページ
【資料4】 課題・方針・措置表（第6～8章関連）・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11 ページ
【資料5】 歴史文化の特性および関連する措置・施設について（第3・9章関連）	14 ページ
【資料6】 未指定文化財の件数（第2章関連）・・・・・・・・・・・・・・・・・・	16 ページ

富山市文化財保存活用地域計画策定事業スケジュール

(令和7年7月現在)

		事項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和5年	事前把握	既存報告書調査			資料収集		未指定文化財データ抽出・整理							
		関連計画等調査			計画収集		関連データ抽出・整理							
	調査	指定文化財台帳整理・分布図					台帳修正・分布図作成等							
		未指定文化財台帳整理・分布図					台帳・分布図作成等							
		文化財所有者アンケート						アンケート案作成		アンケート送付準備	アンケート実施	集計・分析		
	調整・審議会	文化庁		初回協議										現地視察
		文化財調査審議会											意見聴取	
	協議会	協議会開催等		設置要綱・委員就任					①方針説明					②骨子確認
計画作成	計画本文作成						構成案作成	序章・第1章～2章執筆、課題洗い出し、方針措置・関連文化財群の検討					構成完成	
説明	HP作成													HP作成・公開

		事項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和6年	事前把握	既存報告書追加調査			報告書追加収集、未指定文化財データ抽出・整理									
	調査	指定文化財台帳整理・分布図					台帳・分布図修正等							
		未指定文化財台帳整理・分布図					台帳・分布図修正等							
	調整・審議会	文化庁										協議		
		文化財調査審議会											意見聴取	
	協議会								③中間報告					④中間報告
	計画作成	計画本文作成		第3～8章（6～8章は課題・方針部分）執筆・方針の検討・関連文化財群の検討										
説明	HP作成		HP作成・公開											
	市民説明・意識調査					WS（ワークショップ準備）					WS実施			

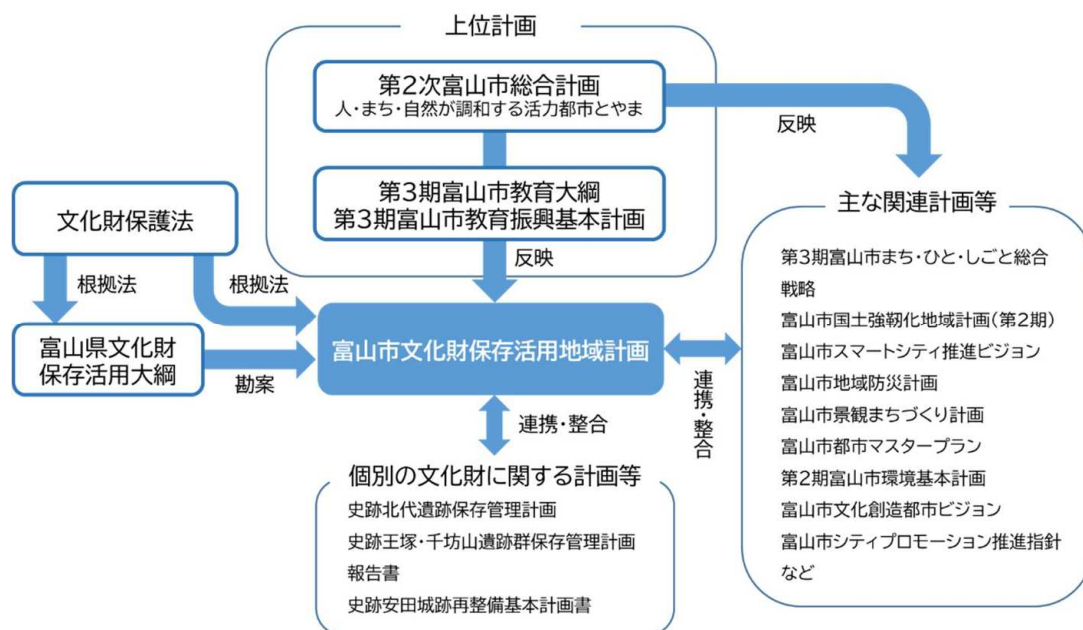
		事項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
令和7年	調査	指定文化財台帳整理・分布図			台帳・分布図修正等										
		未指定文化財台帳整理・分布図			台帳・分布図修正等										
	調整・審議会	文化庁					協議			協議			協議		
		文化財調査審議会											意見聴取		
	協議会						⑤内容確認・方針			⑥中間報告				⑦素案確認	
	計画作成	計画本文作成		措置の検討・関連文化財群の検討 第6～10章（6～8章は措置部分）執筆・参考資料調整・素案作成											
	説明	HP作成		HP作成・公開											

		事項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
令和8年	審議会	文化財調査審議会			意見聴取								報告		
	協議会				⑨最終										
	計画作成					素案完成									
	計画認定						文化庁修正		申請	認定					
	説明	HP作成		HP作成・公開											
		パブコメ等		パブコメ											
	情報発信										パンフ・冊子印刷・配布・HP公開				

富山市文化財保存活用地域計画 概要

序章

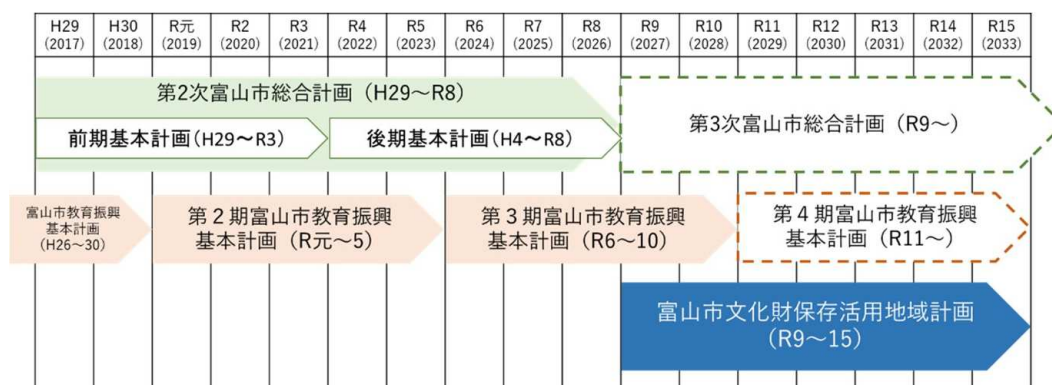
- 1 作成の背景と目的
- 2 本計画の位置づけ
 - (1) 富山県の関連計画
 - (2) 富山市の上位計画
 - (3) 富山市の関連計画
 - (4) 個別の文化財に関する計画



- (5) 本計画とSDGsとの関係



- 3 計画期間 令和9年度～令和15年度



- 4 本計画の対象となる文化財

- 5 本計画作成の体制と経緯

- (1) 作成体制

富山市文化財調査審議会、富山市文化財保存活用地域計画策定協議会

- (2) 作成までの経緯

第1章 富山市の概要

・本市の歴史文化の特性のバックグラウンドとなる情報を記載

1 自然的・地理的環境

- (1) 位置・面積 (2) 地勢 ①地形 ②地質
(3) 気候 (4) 植生 (5) 生物

2 社会的状況

- (1) 市域の変遷 (2) 人口推移・世帯数推移
(3) 交通機関 (4) 土地利用・自然的景観
(5) 産業 ①製造業 ②農業・漁業 ③観光
(6) 文化関連施設 ①博物館等施設 ②図書館・公文書館等 ③文化財施設

3 歴史的背景

- (1) 旧石器・縄文時代 (2) 弥生・古墳時代
(3) 古代(奈良・平安時代) (4) 中世
(5) 近世 (6) 近現代

第2章 富山市の文化財の概要

1 指定等文化財の概要・特徴

- (1) 類型別件数 (2) 地域別件数

2 未指定文化財の件数

3 文化財の類型ごとの概要

4 関連する制度

- (1) 日本遺産：荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～
(2) 日本ジオパーク：立山黒部ジオパーク 高低差 4000m ロマン
(3) 100年フード：ます寿し
(4) 史跡に指定する価値を有する埋蔵文化財：富山藩主前田家墓所
(5) 世界かんがい施設遺産：常西合口用水

第3章 富山市の歴史文化の特性

	歴史文化の特性	細別
1	海拔 0m から 2,986m の営み	(1) 大地の記憶—富山のはじまり— (2) 山里海の恵みが育む生業と信仰・祭礼
2	川と闘い、川と生きる	(1) 川の恵みをいかす (2) 水の災いに立ち向かう
3	海と陸の交流	(1) 海・陸の道と交流の足跡
4	くすりのまち富山	(1) 越中富山のくすり売りと関連産業
5	城下町から県都富山市へ	(1) 戦国動乱と富山築城 (2) 都市富山の発展(近世～近現代)

第4章 文化財に関する既往の把握調査

- ・これまでに本市内を対象とした国・県・市等が実施した把握調査を整理・記載
- ・把握調査から期間が経過するなど、現状確認が必要な文化財類型等

第5章 文化財の保存・活用に関する将来像

1 文化財の保存・活用に関する将来像

歴史文化をつないで伝える「富山らしさ」

《将来像への思い》

✓富山市は市域が広く、各地域魅力ある歴史文化と文化財を持つが、それらにはそれぞれ「つながり」があり「富山らしさ」をつくっていること、そして今のわたしたちの暮らしにも「つながっている」ことを市民が共有することで、シビックプライドを醸成し、さらには文化財と文化財を大切にしたい気持ちを未来に「つなげて」いきたい。

2 将来像を実現するための方向性

- 方向性
- ① 歴史を辿り、守りつなぐ文化財（調査・保存）
 - ② 「富山らしさ」を伝え、今を彩る文化財（活用）
 - ③ 共につなぐ文化財（継承・担い手づくり）

第6章 文化財の調査・保存に関する課題・方針・措置 ～歴史を辿り、守りつなぐ文化財～

1 方向性実現のための課題

- （1）文化財の調査と評価に関する課題
- （2）文化財の保存・管理に関する課題
- （3）防災・防犯に関する課題

2 方向性実現のための方針

- （1）文化財の調査と評価に関する方針
 - ・文化財の実態把握
 - ・文化財の新たな指定等の推進
 - ・貴重な景観資源の指定の推進
- （2）文化財の保存・管理に関する方針
 - ・市所有・管理の文化財の保存整備と適切な維持管理
 - ・個別の保存活用計画の策定推進
 - ・指定等文化財の保存整備とその支援
 - ・文化財の保存整備に関する支援情報の発信
- （3）防災・防犯に関する方針
 - ・防災・防犯対策の実施
 - ・防災・防犯対策のための体制構築と支援

3 方向性実現のための措置

第7章 文化財の活用に関する課題・方針・措置 ～「富山らしさ」を伝え、今を彩る文化財～

- 1 方向性実現のための課題
 - (1) 文化財の活用に関する課題
 - (2) 博物館等施設の活動に関する課題
 - (3) 情報発信に関する課題
- 2 方向性実現のための方針
 - (1) 文化財の活用に関する方針
 - ・市所有・管理文化財の公開等活用推進
 - ・観光資源としての文化財活用と魅力の向上
 - ・文化財活用のための整備推進
 - (2) 博物館等施設の活動に関する方針
 - ・博物館の展示の充実
 - ・博物館での体験活動・普及活動の充実
 - ・施設の整備や博物館連携等機能強化の推進
 - (3) 情報発信に関する方針
 - ・文化財・歴史文化の情報発信の強化
 - ・デジタル技術等を活用した情報発信の整備
- 3 方向性実現のための措置

第8章 文化財の継承・担い手づくりに関する課題・方針・措置 ～共につなぐ文化財～

- 1 方向性実現のための課題
 - (1) 市民への意識醸成・魅力創造に関する課題
 - (2) 文化財継承に関する課題
 - (3) 文化財保存・活用のための協力体制に関する課題
- 2 方向性実現のための方針
 - (1) 市民への意識醸成・魅力創造に関する方針
 - ・学校教育との連携
 - ・子どもや若者を対象とした事業の実施
 - ・歴史文化・文化財の学習機会の提供
 - ・歴史文化・文化財の活用推進のための情報の提供・機会の創出（地域計画の普及）
 - (2) 文化財継承に関する方針
 - ・指定等民俗文化財や伝統工芸の継承に関する支援
 - ・継承にかかる支援情報の発信
 - (3) 文化財保存・活用のための協力体制に関する方針
 - ・文化財・歴史文化の魅力を伝えるボランティアの育成と活動
 - ・文化財・歴史文化を活かした地域の活動と活動への支援

- ・文化財保存活用支援団体指定の検討
- ・専門職員などの人材育成
- ・行政・関係機関との連携

3 方向性実現のための措置

第9章 関連文化財群

- 1 関連文化財群の設定
- 2 関連文化財群の保存・活用に関する課題・方針
- 3 関連文化財群の保存・活用に関する措置

第10章 文化財の保存・活用の推進体制

- ・文化財担当部局や関係部局、博物館等関係機関の職員・専門的人材の配置状況
- ・富山市文化財調査審議会の構成
- ・民間団体等

行政
富山市
教育委員会
生涯学習課
業務内容：文化財の保護・活用に関する業務等
職員：10名（うち、文化財係2名（そのうち、学芸員1名））
埋蔵文化財センター
業務内容：埋蔵文化財及び史跡の保護・活用に関する業務等
職員：16名（うち、学芸員14名）
民俗民芸村
民芸館・民芸合掌館・陶芸館・民俗資料館・売薬資料館・
考古資料館・簗牛人記念美術館
市民学習センター
科学博物館
郷土博物館
大山歴史民俗資料館
猪谷関所館
教育行政センター
学校教育課
教育センター
企画管理部
公文書館
市民生活部
地域コミュニティ推進課
商工労働部
コンベンション・薬業物産課
観光政策課
活力都市創造部
景観政策課
建設部
公園緑地課
審議会
富山市文化財調査審議会

別添資料

- ・文化財リスト
- ・文化財所有者アンケート結果等

第5章 文化財の保存・活用に関する将来像

1 文化財の保存・活用に関する将来像

(1) 各調査等における文化財に対する認識

本市の文化財の保存・活用に関する将来像を設定するにあたって、これまでに行われた調査等から、本市の歴史文化や文化財に対して市民がどのような認識をもっているのかをみておきます。

① 令和5年度市民意識調査

本調査では、本市総合計画の施策に関する調査が行われました。本市の歴史文化や文化財の保存・活用にかかわる施策の満足度は次の表のとおりでした。

施策名	満足＋やや満足の割合 ※（ ）内は52施策内の 順位	不満＋やや不満の割合 ※（ ）内は52施策内の 順位
伝統的文化・文化遺産の保全・活用	14.0% (23 位)	12.1% (50 位)
生涯学習の充実	21.1% (6 位)	18.0% (37 位)
地域・自治体としてのブランディングとシティプロモーション	8.0% (32 位)	27.0% (11 位)
シビックプライドの醸成	6.7% (40 位)	23.7% (21 位)
観光資源の創出・発信と受入体制の整備	9.0% (29 位)	28.4% (8 位)

表 歴史文化・文化財に係る施策の満足度（「令和5年度市民意識調査」をもとに作成）

歴史文化・文化財に最もかかわる施策である「伝統的文化・文化遺産の保全・活用」の満足度は、「満足」または「ほぼ満足」の割合が14.0%と高くはない一方で、「不満」または「やや不満」と感じる人も12.1%と少ないことが分かります。これは伝統的文化・文化遺産に対する関心の低いことが要因の一つと考えられます。

また、本調査での本市への定住意識に関する質問に対し、今後も富山市に「ずっと住み続けたい」または「できるなら住み続けたい」と回答した人（全体の81.4%）のうち、住み続けたい理由として「地域になじみや愛着があるので」を挙げた人が56.7%と最も多くなっています。一方で、市外に引っ越したい理由のうち「出身地（富山市以外）に愛着があるので」という回答が、27.9%と2番目に多い理由でした。このように、住んでいる地域に対する親しみや愛着は、定住を支える大きな要因となっています。

こうした地域への愛着と大きくかかわる施策として、市民がまちに対して誇りをもつための「シビックプライドの醸成」や、地域の魅力を発信する「地域・自治体としてのブランディングとシティプロモーション」が挙げられます。

また、「観光資源の創出・発信と受け入れ体制の整備」も地域の歴史や文化、豊か

な自然環境などの地域資源を観光資源として活用し、地域の魅力を発信する施策です。

本市の歴史文化や文化財といった地域資源の掘り起こしや魅力発信は、文化財等への市民の関心を高めるとともに、シビックプライド醸成やシティプロモーション、観光資源創出等にも有効であると考えます。

② 指定等文化財所有者アンケート（令和5年度）

調査対象：市内の指定・登録文化財所有者（管理責任者）

回答数：90件（文化財数133件（うち1件無回答））

※アンケートの詳細は資料編を参照ください。

令和5年度に実施した、指定等文化財所有者アンケートの結果からは次のことが分かります。

まず、文化財を所有していることの意識について、「誇らしい」または「やや誇らしい」と答えた人（全体の73.3%）のほうが「誇らしくない」と答えた人よりも負担を感じている割合が高くなっています。

次に文化財の保存・活用に関する課題について聞いたところ、「とくに困っていない」という回答が一番多かった一方で、「維持管理や修繕にかかる費用負担が大きい」と答えた人も多く、特に建造物や有形民俗文化財、史跡での割合が高くなっています。そのほか、「後継者がいないという問題を抱えている」、「防災・防犯対策の負担が大きい」「行政等の支援情報が不足している」といった課題が続きました。

文化財活用の現状については「特に何もしていない」との回答が一番多く、続いて「一般公開している」「HP上で紹介している」といった活用方法が多い結果となりました。また今後の活用について、「積極的に活用していきたい」という回答が25.6%、特定期間や申込があったときなど限定的な活用については25.5%と半数あまりの人が活用を考えていました。その理由として高かったのが「文化財の価値を地域住民に知ってほしいから」「富山市の歴史や文化を市内外の人たちに知ってほしいから」であり、情報発信の必要性を感じている人の多いことが分かります。

一方で「積極的な活用はしたくない」または「活用は考えていない」も37.8%と高く、その理由として多かったものが「来訪者への対応ができる整備がないから」「文化財の所在地が広く知られることで、盗難やいたずらの恐れがあるから」であり、防犯を含む整備の不十分さが活用困難の要因となっていることが分かります。

③ 富山市文化財保存活用地域計画策定のためのワークショップ（令和6年度）

「常願寺川・神通川にまつわる歴史文化ストーリーを考えよう」

開催日：令和6年12月8日・22日

参加人数：20名

このワークショップでは、市内を流れる二大河川をテーマに歴史文化ストーリーや

関連文化財群を設定し、その保存・活用のアイデアを出し合いました（詳細は資料編参照）。

本市文化財の保存・活用の今後の取り組みについて、ワークショップおよび開催後のアンケートからは次のような課題やアイデアが出されました。

文化財保存・活用に関する課題やアイデアについて（要約）
・ デジタル技術を使った情報発信 ・ 文化財を活用した新しい観光ルートやガイドツアー、スポーツレクリエーション ・ 学校との連携などにより、子どもたちに文化財の魅力を伝える ・ 官民協力体制の構築が必要 ・ 各地域の交流 ・ 各地域の文化伝承を集め、記録する

（２）関連計画に記載された文化財の保存・活用に関する課題・方針

序章では本計画に関連する他の計画について挙げましたが、そのうち本計画の上位計画では、文化財に関係する課題・方針について、次のとおり記載しています。

まず、第２次富山市総合計画で掲げている施策については本節の（１）①で挙げたとおりですが、特に施策「伝統的文化・文化遺産の保全・活用」を、「富山の文化的アイデンティティー（富山らしさ）を再確認し、次の世代に伝える魅力ある文化を創造するため」の施策と位置付けています。

次に、第３期富山市教育振興基本計画では、重要文化財建造物等歴史的建造物の活用整備や史跡整備の必要性のほか、文化財の総合的把握と次世代への継承を課題に挙げ、「文化遺産等の保存活用」「文化財調査の実施」「史跡整備の実施」を施策方針としています。

また、同基本計画では、人文系博物館による本市の歴史・民俗・美術の学習機会の提供をより質の高いものとするため、博物館の連携や市民との協働を課題としており、「人文系博物館の展示・普及活動の充実」を施策方針としています。あわせて、科学博物館でも市民、とりわけ子供たちの自然や科学への理解と関心を高めるため、「科学博物館の展示・普及活動の充実」を施設方針に掲げています。

これらのほか、序章で挙げた関連計画においても、文化財の保存や活用にかかわる方針をそれぞれ記載しています。

（３）将来像とそこに込められた思い

前節までをまとめると次のことが言えます。

- ・ 本市の歴史文化や文化財を発掘し、その魅力や「富山らしさ」を発信することは、シビックプライドの醸成や観光資源創出にも有効であること。
- ・ 本市の歴史文化を発信する場でもある博物館の展示・普及活動の充実を目指していること。
- ・ 文化財が次世代に継承される体制を整える必要があること。

このうち「富山らしさ」について、本計画で本市の歴史文化の特性を示すことは「富山

らしさ」の提示にもつながりますが、「富山らしさ」を示すには、各地域の魅力ある歴史文化や文化財を総合的にとらえ、つなげて提示する必要があると考えます。

以上のことから、本計画では文化財の保存・活用に関する将来像を次のとおり定めます。

将来像

歴史文化をつないで伝える「富山らしさ」

《将来像への思い》

✓富山市は市域が広く、各地域魅力ある歴史文化と文化財を持つが、それらにはそれぞれ「つながり」があり「富山らしさ」をつくっていること、そして今のわたしたちの暮らしにも「つながっている」ことを市民が共有することで、シビックプライドを醸成し、さらには文化財と文化財を大切に作る気持ちを未来に「つなげて」いきたい。

2 将来像を実現するための方向性

この将来像を実現するために、以下の3つの方向性に分け、文化財の保存・活用のための課題・方針・措置を次章以降に示します。

方向性① 歴史を辿り、守りつなぐ文化財（調査・保存）

本市の歴史文化や文化財に関する調査を通じて文化財の歴史的価値を把握するとともに、文化財を適正に保存・管理をし、次世代へとつなげる。

方向性② 「富山らしさ」を伝え、今を彩る文化財（活用）

文化財を活用し、本市の歴史文化や文化財の魅力を普及発信する。

方向性③ 共につなぐ文化財（継承・担い手づくり）

市民とともに本市の歴史文化を共有し、連携体制を整え、みんなで文化財を支える。

富山市文化財保存活用地域計画 課題・方針・措置表（第6～8章関連）

将来像 歴史文化をつないで伝える「富山らしさ」

令和7年7月時点

方向性	課題	方針	措置 No.	措置名	概要	取組主体 ◎…中心となって取り組む主体 ○…協力する主体					期間			
						市民 地域	所有者 (保存会 含む)	団体	専門家	行政	前期 9-11	後期 12-15	恒常	
I “歴史を辿り、守りつなぐ文化財” (調査・保存) 本市の歴史や文化財に関する調査を通じて文化財の歴史的価値を把握するとともに、文化財を適正に保存・管理をし、次世代へとつなげる。	①文化財の調査と評価に関する課題・方針・措置													
	①－1 指定、未指定文化財ともに、実態把握を進める必要がある。	・文化財の実態把握	1	指定候補文化財の調査・検討	未指定文化財のうち、指定候補となるものについて調査・検討を行う。		◎		◎	◎			○	
			2	発掘調査の実施	埋蔵文化財包蔵地や史跡等について、発掘調査を行う。		○	○	○	◎			○	
			3	博物館資料の収集・調査	展示をはじめとする研究成果発信の充実を図るため、博物館資料の収集・調査を進め、本市の歴史文化の情報を深化させる。	○	○		○	◎			○	
			4	【新規】未指定文化財現状調査	文化財リストに掲載されている文化財の現状を順次調査する。		○		○	◎	○	○		
	①－2 評価が定まった文化財を新たな指定等により保護を促進する必要がある。	・文化財の新たな指定等の推進 ・貴重な景観資源の指定の推進	5	文化財調査審議会の開催	文化財の市指定など、文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議し、委員会に建議する。				◎	◎			○	
			6	文化財の指定・登録の推進	調査・検討の結果、指定等文化財の要件を満たすものの市の指定や国登録への提案を行う。		◎		◎	◎			○	
			7	景観重要建造物、景観重要樹木、景観まちづくりの宝物の指定	景観法、景観まちづくり条例に基づき、貴重な景観資源を指定することで、保全や活用を推進するほか、その価値を広く周知しシビックプライドの醸成や本市の魅力向上につなげる。		◎		○	◎			○	
	②文化財の保存・管理に関する課題・方針・措置													
	②－1 保存・管理の計画的な実施が必要である。	・市所有・管理の文化財の保存整備や適切な維持管理 ・個別の保存活用計画の策定推進	8	指定等文化財の保存修理	市が所有または管理する指定等文化財を適切に保存し、必要な修理等を行う。				○	◎			○	
			9	史跡・天然記念物等記念物の維持管理	市が所有または管理する史跡・天然記念物等、記念物の草刈・清掃・剪定等を行い、適切な維持管理や環境整備に努める。	○	○		○	◎			○	
			10	安田城跡歴史の広場の再整備	市民に歴史学習や憩いの場を提供する史跡公園として適切に維持管理するため、老朽化している安田城跡歴史の広場の再整備を行う。				○	◎	○			
			11	博物館資料保存管理の調査研究	博物館資料の適切な保存管理のため、調査研究を進める。					◎			○	
			12	【新規】保存活用計画の作成	指定等文化財の保存活用計画の作成を進める。		◎		○	◎	○	○		
	②－2 保存・管理の支援が必要である。	・指定等文化財の保存整備とその支援 ・文化財の保存整備に関する支援情報の発信	13	指定等文化財の保存整備及び整備支援	所有者等による指定等文化財の保存整備の実施に対し、行政が助言や補助等支援を行う。		◎		○	◎			○	
			14	文化財保存整備に関する支援情報の発信	文化財の保存整備に関する支援情報を発信する。					◎			○	
			15	景観まちづくりアドバイザーの派遣	歴史建築や色彩、コミュニティデザインなどの有識者を「景観まちづくりアドバイザー」として登録しており、景観まちづくり等について、専門的観点から技術的援助を行う。	○			○	◎			○	
	③防災・防犯に関する課題・方針・措置													
	③－1 防災・防犯対策が必要である。	・防災・防犯対策の実施	16	防火訓練等の実施	1月26日の「文化財防火デー」などにあわせ、指定等文化財や博物館等施設の防火設備の点検や防火訓練等を行う。	○	◎	○		◎			○	
			17	【新規】防災計画の策定	指定等文化財の保存活用計画の作成にあたり、防災・防犯に関する計画を記載する。		◎		○	◎	○	○		
	③－2 防災・防犯に係る支援、体制構築が必要である。	・防災・防犯対策のための体制構築と支援	18	指定等文化財の防災・防犯体制の整備及び整備支援	所有者等による指定等文化財の防災・防犯体制の整備の実施に対し、行政が助言や補助等支援を行う。		◎		○	◎			○	
			19	文化財ドクター・レスキュー事業との連携	災害発生時、文化財防災センターや県と連携し、文化財ドクター・レスキュー事業推進に取り組む。	○	○	◎	◎	◎			○	

方向性	課題	方針	措置 No.	措置名	概要	取組主体 ◎…中心となって取り組む主体 ○…協力する主体					期間				
						市民 地域	所有者 (保存会 含む)	団体	専門家	行政	前期 9-11	後期 12-15	恒常		
Ⅱ “「富山らしさ」を伝え、 今を彩る文化財” (活用) 文化財を活用し、本市の歴史 文化や文化財の魅力を発信・ 普及する。	①文化財の活用に関する課題・方針・措置														
	①ー1文化財の活用を進める 必要がある。 ①ー2観光資源としての魅力 創造が必要である。	・市所有・管理文化財の公 開等活用推進 ・観光資源としての文化財 活用と魅力の向上	20	市所有・管理文化財施設の公開 等活用	岩瀬地区廻船問屋の町家である重文旧森家住宅と国登録旧馬場家住宅、太田地区の重文浮田家住宅を公開し、また市民の文化活動に供することで、市民や観光客が本市の歴史文化に触れる場とともに、賑わいの創出につなげる。	○		○		◎			○		
			21	史跡公園を活かしたイベントの 実施	史跡公園として整備されている北代縄文広場、安田城跡歴史の広場、堀Ⅰ遺跡において、各史跡の特徴を活かしたイベントの開催や地元団体との連携を通して、郷土の歴史文化に触れる機会を創る。	◎		◎	○	◎			○		
			22	富岩水上ラインの運航	富山県と富山市で構成する「学習支援船運営委員会」が、滞在型観光の推進、賑わい創出のため、富岩運河を活用した運河クルーズ「富岩水上ライン」を提供するもの。運河クルーズでは、国指定重要文化財である「中島閘門」による水位調整「水のエレベーター」を体験することができる。			○		◎			○		
			23	北前船日本遺産推進事業	平成30年5月に本市の「北前船寄港地・船主集落」が「日本遺産」へ追加認定されたことから「北前船寄港地・船主集落」のストーリーを活用し、関係自治体及び関係団体と連携を図りながら広域観光を推進することにより、交流人口の拡大を図る。		○	◎		◎			○		
			24	富山やくぜんの普及推進	300年以上の歴史を有する「富山のくすり」の伝統を活かし、健康に良いとされる食材等を使用した「富山やくぜん」の普及・啓発を行う。					◎			○		
			25	歴史文化を辿るウォーキングツ アー等の実施	本市の各所に残る文化財や歴史的名所、自然や景観など本市の歴史文化の魅力を伝えるため、実際に現地を巡るウォーキングツアー等を開催する。			◎	○	◎			○		
	①ー3積極的な活用を推進 するため、効果的な整備が 必要である。	・文化財活用のための整備 推進	26	【新規】旧米田家住宅ほか岩瀬 地区廻船問屋の活用整備	岩瀬地区の旧米田家住宅について、市民や地元の意見をふまえて活用方針を決定し、整備を進めることで、適切な保存と活用を図る。また同地区の森家・馬場家も含む岩瀬地区全体の活用のあり方を見直す。	○			○	◎	○	○			
			27	文化財活用に関する支援の情報 提供	文化財の活用に関する支援情報を発信する。					◎			○		
			28	景観まちづくり推進区域の指定	特徴あるまち並みや歴史的建造物が集積する地域で、周囲の景観と一体をなした歴史的景観の保全・形成が必要とされる区域などを景観まちづくり推進区域に指定する。	○				◎			○		
			29	呉羽丘陵フットパスの整備	呉羽丘陵の尾根に沿って設けられた散策路を「フットパス」として位置付け、城跡や古墳などの歴史遺産、雄大な立山連峰の眺望や里山の自然を楽しめるよう、案内サイン等の施設整備や、ウォーキングイベント等を通して利用促進を図る。			◎		◎			○		
	②博物館等施設の活動に関する課題・方針・措置														
	②ー1博物館等施設（以下、「博物館」）の展示・普及活動の充実、機能強化、魅力向上が必要である。	・博物館の展示の充実 ・博物館での体験活動・普及活動の充実 ・施設の整備や博物館連携等機能強化の推進	30	博物館等施設での展示開催	本市の博物館や資料館などの展示施設において、本市の歴史文化や文化財に関する展示や展示解説を行う。	○	○	◎	○	◎				○	
			31	博物館等施設での普及活動	博物館資料を活かした体験活動等の普及活動を行う。			○		◎				○	
			32	孫とおでかけ支援事業	高齢者の外出の機会を促進するとともに、世代間交流を通じて家族の絆を深めるため、また、地域の文化や歴史、科学や自然への関心を幅広い年齢層に広めることを目的に、祖父母と孫（ひ孫）が一緒に来場された場合に利用料・観覧料などを全額減免する。						◎			○	
			33	キャッシュレス決済の実施	来館者の利便性向上及び来館者数増加のため、博物館施設でのキャッシュレス決済を実施する。					◎				○	
			34	富山市博物館等ガイドマップ作成	市内博物館等施設の概要がわかるガイドマップを作成・配布する。					◎				○	
			35	施設整備（改修・耐震・照明LED化等）	施設・設備の適切な維持管理に努めるとともに、機能の充実や施設の長寿命化を図る。					◎				○	
			36	くすり関連施設の整備	富山のくすりの歴史と文化、精神を継承し、薬都の未来を市民とともに創造する「くすり関連施設」の整備に向けて検討を行う。					◎				○	
			37	郷土博物館の機能強化の検討	郷土博物館を中心に、博物館間の連携や市民との協働、展示のリニューアルなど館の魅力向上について検討する。					◎				○	
	③情報発信に関する課題・方針・措置														
	③ー1さらなる情報発信が必要である。	・文化財・歴史文化の情報 発信の強化	38	文化財説明案内板の設置・更新	市内の文化財説明案内板を適宜設置・更新し、本市文化財の情報の発信に努める。		○			◎					
			39	調査・研究成果の公開	調査研究の成果を報告書等で公開する。			○	○	◎				○	
			40	「富山のくすり」ブランド情報 発信・医薬品宣伝対策	地域ブランドとしての「配置薬」に関する認知度を県内外において高め、配置薬の利用促進と新規顧客開拓を図る。また、「富山のくすり」を県内外の観光客に広く周知するため、富山空港等に宣伝物を提示する。			◎		○				○	
	③ー2効果的な情報発信の 整備が必要である。	・デジタル技術等を活用し た情報発信の整備	41	薬業資料のデジタルアーカイブ 化	売薬版画をはじめとする薬業資料の散逸防止とくすり関連施設の魅力創出のため、市民等が所有する本市にとって魅力のある薬業資料のデジタルアーカイブ化を行う。		○			◎				○	
			42	歴史資料として重要な公文書及 び市町村史編纂資料の検索シス テムの提供	歴史資料として重要な公文書及び市町村史編纂資料について、利用者がインターネット上で目録情報を検索・閲覧できるよう資料検索システムを提供する。						◎				○
			43	富山大空襲に関する遺品等資料 のホームページへの掲載	富山大空襲の遺品や資料の収集について広報とやまや市ホームページ等で広く募集を行うとともに、専用ホームページ「富山大空襲の記憶」に掲載することで、戦争の悲惨さや平和の尊さを後世に伝承する。		○	◎		◎					○
			44	ウェブサイトによる埋蔵文化財 の情報発信	埋蔵文化財センターホームページや「インフォマップとやま」において、史跡・埋蔵文化財包蔵地の調査・研究成果の公開、普及事業や出版物の案内、遺跡保護のための手続き等について情報発信を行う。						◎				○
			45	【新規】文化財ウェブサイトの 整備と充実化	本市の文化財や歴史文化の情報、関連文化財群の紹介、文化財に対する支援情報など、文化財に関する情報をWeb上で一元化するとともに、情報の充実化を進める。		○				◎	○	○		

方向性	課題	方針	措置 No.	措置名	概要	取組主体 ◎…中心となって取り組む主体 ○…協力する主体					期間				
						市民 地域	所有者 （保存会 含む）	団体	専門家	行政	前期 9-11	後期 12-15	恒常		
Ⅲ “共につなぐ文化財” （継承・担い手づくり） 市民と歴史文化を共有し、連 携体制を整え、みんなで文化 財を支える。	①市民への意識醸成・魅力創造に関する課題・方針・措置														
	①ー 1 学校教育との連携や 子どもや若者に向けた魅力 発信が必要である。	・ 学校教育との連携 ・ 子どもや若者を対象とし た事業の実施	46	博物館等施設での学校団体向け 解説・体験活動の提供	児童・生徒等が本市の歴史文化や文化財の魅力に触れ、興味をもってもらえるよう、学校団体向けの解説や 体験活動を提供する。					◎				○	
			47	学校向け出前講座の実施	学芸員が学校へ訪問またはオンラインで出前講座を行うことで、学校教育における郷土学習の充実を図る。						◎			○	
			48	職業体験活動の受入れ（「社会 に学ぶ『14歳の挑戦』」事業の 受入れ）	博物館等施設において職業体験を受け入れることで、施設や本市の歴史文化を身近に感じてもらい、理解の 促進を図る。						◎			○	
			49	教職員研修の実施・受入れ	博物館等施設において、教職員の研修を実施または受け入れることで、施設や本市の歴史文化の理解促進を 図り、授業の充実化に貢献する。						◎			○	
			50	薬師岳美化行進	本市の中学生を対象に、登山道周辺の清掃活動を通して、自然愛護や環境保護への関心と郷土への愛着心を 高めることを目的として薬師岳登山を行う。				○	○	◎			○	
			51	小学校社会科副読本の制作	本市の伝統的な主要産業である薬業など、本市の歴史文化に関する社会科副読本を作成し、授業で活用する ことにより、児童の理解を深めるとともに、ふるさとへの誇りや愛着を育む。						◎			○	
			52	「くすりの富山」未来への架け 橋事業	未来の薬業界の人材確保につなげるために、本市の代表的な伝統地場産業である「薬業」や「富山やくぜ ん」に若い頃から興味・関心を持ってもらえる事業を実施する。				○	○	◎			○	
			53	さと美ワークショップ	郷土の美術や伝統工芸への関心を深めてもらうため、佐藤記念美術館において、夏休み期間中の親子を対象 としたワークショップの開催する。					○	◎			○	
			54	夏休み恐竜探検隊	小学生4～6年生を対象に、大山地域にある恐竜足跡化石発掘現場での足跡化石見学や化石発掘体験や、化石 レプリカ作りを行う。						◎			○	
	①ー 2 生涯学習の場での学 習機会の提供や文化財の保 存活用に関する情報提供な ど、市民への発信が必要で ある。	・ 歴史文化・文化財の学習 機会の提供 ・ 歴史文化・文化財の活用 推進のための情報の提供・ 機会の創出（地域計画の普 及）	55	出前講座の実施	本市の歴史文化に関する出前講座を実施し、市は学芸員などの専門職員を派遣する。	◎			◎		◎			○	
			56	市民大学の開設	講座を通して本市の歴史文化や文化財の特徴を受講者へ伝えとともに、歴史文化や文化財の保存・活用へ の参画に興味を持つ機会を提供する。					○	◎			○	
			57	発掘調査現地説明会	市内遺跡の発掘調査現地説明会を行い、調査成果や魅力について普及啓発を行う。		○	○	○	◎			○		
			58	景観まちづくり普及啓発	市民や事業者を対象に、景観まちづくり学習や出前教室、景観まちづくりに関するフォーラムやワーク ショップを開催し、景観への関心を喚起する。		○			◎			○		
			59	【新規】文化財の保存・活用の ためのシンポジウム等のイベ ントの開催	文化財の魅力発信や保存・活用、地域計画の内容に関するシンポジウムやワークショップなどのイベントを 開催する。	○	○			○	◎	○	○		
	②文化財継承に関する課題・方針・措置														
	②ー 1 文化財継承の担い手 の確保・育成への支援策・ 支援情報の発信が必要であ る。	・ 指定等民俗文化財や伝統 工芸の継承に関する支援 ・ 民俗芸能等の継承にかか る支援情報の発信	60	指定等民俗文化財の継承とその 支援	所有者等による指定等民俗文化財の継承活動に対し行政が支援を行う。		◎				◎			○	
			61	伝統工芸の継承とその支援	本市の伝統工芸品である富山木象嵌や越中和紙の技術の継承活動に対し行政が支援を行う。				◎		◎			○	
			62	民俗芸能等の継承に関する支援 情報の提供	民俗芸能や伝統行事等の継承に関する支援情報を広く発信する。						◎			○	
	③文化財保存・活用のための協力体制に関する課題・方針・措置														
	③ー 1 市民を巻き込んだ協 力体制が必要である。	・ 文化財・歴史文化の魅力 を伝えるボランティアの育 成と活動 ・ 文化財・歴史文化を活か した地域の活動と活動への 支援 ・ 文化財保存活用支援団体 指定の検討	63	博物館等施設への市民ボラン ティアの参画	博物館等施設において、解説や普及活動、資料調査などで協働いただける市民ボランティアを募集・育成・ 活動を行う。	◎					◎				○
			64	「くすりの語り部」の育成	「薬都とやま」のイメージアップを図るため、「くすりのまち富山」について、観光客などに分かりやすく 説明、案内のできる人材の育成を行う。	◎				○	◎				○
			65	おわら風の盆行事の実施とその 支援	おわら風の盆行事を実施する行事運営委員会に対し行政が支援を行い、円滑な行事の運営を図る。	◎	◎	◎		○				○	
			66	地域の歴史や文化財を活用した 地域の活性化とその支援	地域の団体が主体となって行う歴史や文化財を活用した地域活性化のための取組に対し、行政が支援を行 う。	◎					◎			○	
			67	景観まちづくり市民団体・協議 会の登録・認定、景観まちづ くり活動への補助	市民や事業者が主体となって行う地域の個性ある景観形成に向けた自主的なルール作りなどの活動に対して 行政が支援を行う。	◎			◎		◎				
			68	【新規】文化財保存活用支援団 体指定の検討	文化財保存活用支援団体指定について検討を進める。	○			○		◎		○		
	③ー 2 文化財の保存活用を 担う組織の構築が必要であ る。	・ 専門職員などの人材育成 ・ 行政・関係機関との連携	69	専門職員の適切な配置と研修	学芸員などの専門職員を適切に配置するとともに、研修等に参加することにより資質の向上を図る。						◎			○	
			70	行政および関係機関との連携	国や県、関連団体との連携を密にし、文化財保存活用の促進を図る。				○	○	◎			○	

歴史文化の特性および関連する措置・施設について(第3・9章関連)

歴史文化の特性		関連する主な 歴史的事象・ 文化財	主な関連措置と本市関連施設
大別	細別		
海拔0mから 2,986mの営み	大地の記憶 －富山の はじまり－	記念物（自然）、原始古代遺跡	09 史跡・天然記念物等記念物の維持管理 21 史跡公園を活かしたイベントの実施 29 呉羽丘陵フットパスの整備 50 薬師岳美化行進 54 夏休み恐竜探検隊 63 博物館等施設への市民ボランティアの参画（北代縄文広場・科学博物館） ----- 考古資料館（民俗民芸村） 科学博物館 北代縄文広場
	山里海の恵みが育む生業と信仰・祭礼	養蚕（蚕種）、漁業、鉱業、林業、焼き物、木工芸、米作等、農山漁村	61 伝統工芸の継承とその支援 ----- 民芸館・民俗資料館・陶芸館（民俗民芸村） 佐藤記念美術館 大山歴史民俗資料館 八尾曳山展示館
		曳山や獅子舞、稚児舞など地域の祭礼行事、寺社、宗教美術、信仰関係文化財	60 指定等民俗文化財の継承とその支援 62 民俗芸能等の伝承に関する支援情報の提供 65 おわら風の盆行事の実施とその支援 66 地域の歴史や文化財を活用した地域の活性化とその支援 ----- 八尾おわら資料館 八尾曳山展示館
川と闘い、川と生きる	川の恵みをいかす	漁業、ます寿し、発電所、用水、製紙、売薬	22 富岩水上ラインの運航 51 小学校社会科副読本の制作（『わたしたちの富山市』） 61 伝統工芸の継承とその支援（越中和紙） -----
	水の災いに立ち向かう	安政飛越地震の転石、近代治水・砂防施設、橋、イタイタイ病	郷土博物館 大山歴史民俗資料館 浮田家住宅（展示） 旧馬場家住宅（展示） 売薬資料館（民俗民芸村）

歴史文化の特性		関連する主な 歴史的事象・ 文化財	主な関連措置と本市関連施設
大別	細別		
海と陸の 交流	海・陸の道 と交流の足 跡	四隅突出型墳 丘墓、北前 船、港町（廻 船問屋の町 家、米騒動な ど）、街道、 猪谷関跡	20 市所有・管理文化財施設の公開等活用（旧森家住宅・旧馬場家住宅） 23 北前船日本遺産推進事業 26 旧米田家住宅ほか岩瀬地区廻船問屋の活用整備 29 呉羽丘陵フットパスの整備 考古資料館（民俗民芸村） 旧森家住宅 旧馬場家住宅 猪谷関所館
くすりのまち 富山	越中富山の くすり売り と関連産業	売薬（富山の 売薬用具、旧 金岡家住宅、 旧密田家土 蔵、売薬関係 古文書、神農 信仰）、製 紙、北前船	24 富山やくぜんの普及推進 26 旧米田家住宅ほか岩瀬地区廻船問屋の活用整備 36 くすり関連施設の整備 40 「富山のくすり」ブランド情報発信・医薬品宣伝対策 41 薬業資料のデジタルアーカイブ化 51 小学校社会科副読本の制作（『くすりのまち とやま』） 52 「くすりの富山」未来への架け橋事業 64 「くすりの語り部」の育成 61 伝統工芸の継承とその支援 売薬資料館（民俗民芸村） 旧森家住宅 旧馬場家住宅
城下町から 県都富山市へ	戦国動乱と 富山築城	中世城館、 佐々・上杉・ 神保関係	09 史跡・天然記念物等記念物の維持管理（城跡） 10 安田城跡歴史の広場の再整備 郷土博物館 婦中安田城跡歴史の広場
	都市富山の 発展（近世 ～近現代）	富山城、城下 町、長岡御 廟、売薬、都 市計画事業、 富山県庁、富 山電気ビル ディング、富 山大空襲	25 歴史文化を辿るウォーキングツアー等の実施（市街地） 43 富山大空襲に関する遺品等資料のホームページへの掲載 売薬関連の措置（前掲） 売薬資料館（民俗民芸村） 郷土博物館

・歴史文化…文化財とそれを取りまく環境（文化財が生まれ守られてきた環境、自然環境や人々の営み等）を総体的に把握した概念。地域固有の歴史や文化にまつわるコンテキスト。
＝「地域らしさ」

・関連文化財群…地域の多種多様な文化財を歴史文化の特性に基づいて一定のまとまりとしてとらえたもの。記載する際は、設定の考え方や名称、概要（テーマ・ストーリー）、構成文化財の一覧、関連文化財群ごとの保存活用の課題・方針、措置の内容を記載。

【資料6】

未指定文化財の件数（第2章関連）

令和7年7月現在

類型			例示	富山	大沢野	大山	八尾	婦中	山田	細入	不明	合計
有形文化財	美術工芸品	建造物	〇〇氏住宅、旧密田家土蔵	280	51	44	59	31	12	14	11	502
		絵画	富山藩領山方絵図絵巻、船絵馬	95	2	1	1	10	1	1	125	236
		彫刻	楊柳観音菩薩立像、円空仏	44	3	1	0	10	0	1	20	79
		工芸品	青貝香盆、立山雷鳥図（中島奎堂）	14	0	1	2	1	0	0	97	115
		書跡・典籍	十代利保筆九重桜歌、前田正甫元旦試書き	5	0	0	1	0	0	0	174	180
		古文書	小見亀谷村共有文書、船橋原由之事	33	6	6	11	41	0	7	89	193
		考古資料	新開遺跡出土品、四方北窪遺跡遺物一式	592	84	85	85	152	16	25	0	1039
		歴史資料	神通川船橋鐵鎖、越中国富山城絵図	43	1	3	0	15	0	2	542	606
無形文化財			富山木象嵌、越中八尾和紙	1	0	0	1	0	0	0	0	2
民俗文化財	有形の民俗文化財	生活用具、曳山等祭礼用具、生産用具	210	19	24	53	22	14	8	14	364	
	石造物	石塔、石仏、題目塔、道標	2249	274	425	110	306	48	86	80	3578	
	無形の民俗文化財	獅子舞、曳山囃子、天神信仰、ます寿し、報恩講料理	317	104	46	101	198	40	44	23	873	
記念物	遺跡	大久保発電所、須坂遺跡、足立塚	999	136	135	184	306	34	49	42	1885	
	名勝地	神通峡、有峰の自然景観	12	16	3	3	1	1	2	0	38	
	動物・植物・地質鉱物	磯部堤の桜、田尻池（オオハクチョウ飛来）	58	21	78	56	28	12	16	2	271	
文化的景観			山田の棚田、立山・黒部の景観、水橋地区の町並み	12	4	2	2	0	2	3	0	25
その他 史話・伝承・方言			水神伝説六治古物語、椀貸し伝説	37	47	4	13	98	12	9	11	231
合計				5001	768	858	682	1219	192	267	1230	10217